

血 製 第 79 号
令和 6 年 11 月 6 日

公益社団法人

全日本病院協会会長 様

日本赤十字社 血液事業本部長
(公印省略)

献血血液の研究開発等への使用に関する公募の実施について (令和 7 年度使用分)

平素より、日本赤十字社の血液事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

献血血液の研究開発等への使用については、「献血血液等の研究開発等への使用に関する指針」が廃止されたところですが、日本赤十字社では献血者の善意により得られた血液の有効利用等を鑑み、引き続き献血血液の研究開発等への使用に関する公募を実施しております。

今般、令和 7 年度の献血血液の研究開発等への使用を希望する者の公募を行うこととなりましたので、貴職におかれましては、貴機関内又は貴団体管下における血液製剤の安全性向上等に関する研究開発等に携わる関連団体に対し周知していただきますよう、よろしく願いいたします。

記

1 公募期間 (令和 7 年度使用分) について

令和 6 年 11 月 8 日 (金) ~ 令和 7 年 1 月 10 日 (金) (必着厳守)

2 献血血液の提供に係る費用について

本事業を継続的に実施するにあたり、使用目的に応じた費用を徴収しております。提供可能な血液の種類及び費用詳細については別紙をご参照ください。

なお、教育研修目的での使用につきましては、原則無償とさせていただいておりますが、報告時の成果等に疑義が生じた際は、別途費用を徴収させていただく場合がございます。

使用目的	譲渡費用	対象機関
教育研修目的 (教育目的の検査実習や輸血 実習での使用)	無償	教育・医療機関
精度管理・研究目的	別紙のとおり	教育・研究機関等
その他の使用目的 (企業における商業目的及び 研究目的の使用等)	別紙のとおり + 追加作業費	その他の企業等

3 公募への申請について

献血血液の研究開発等への使用に関する公募の詳細につきましては、下記日本赤十字社ホームページにてご案内しております。公募要項をご確認いただき、献血血液を研究開発等での使用を希望される場合は、申請に必要な書類を作成の上、日本赤十字社公募担当窓口までご提出ください。

なお、申請に必要な様式等につきましては、日本赤十字社のホームページよりダウンロードいただき、作成いただきますようお願いいたします。

また、公募に関してのご質問等につきましては、お手数ですが、下記問い合わせ先までご連絡いただければと存じます。

日本赤十字社 HP

<https://www.jrc.or.jp/donation/blood/koubo/>

問い合わせ先：日本赤十字社 公募担当窓口

日本赤十字社血液事業本部技術部製造管理課

メールアドレス：nisekikoubo@jrc.or.jp

電話番号：03-3437-7204

費用の徴収と血液の種類について

使用目的別に以下の費用を徴収します。

「教育研修目的」・・・医療従事者等の教育により、輸血医療及び血液事業の発展に大きく貢献することから原則無償とします。報告時の成果等で疑義が生じた際は、譲渡費用を徴収させていただく場合があります。

「精度管理・研究目的」・・・下表の譲渡費用を徴収します。

「その他使用目的」・・・下表の譲渡費用及び血液譲渡の際に発生する追加作業に応じた追加作業費を徴収します。

また、提供できる血液の種類は以下のとおりです。

血液の種類		費用	1 バッグあたりの量
血液製剤	全血	18 円/mL	300mL 程度
	赤血球	18 円/mL	約 280mL
	血漿	20 円/mL	約 240mL
	血小板	73 円/mL	約 200mL (10 単位)
検査用検体の 残余血液	全血	18 円/mL	4mL 程度 (EDTA 採血)
	血清	18 円/mL	1.5mL 程度 (抗凝固剤無・分離剤有)
	血漿	18 円/mL	1.5mL 程度 (EDTA 採血・分離剤有)
その他	セグメント	18 円/mL	700 μ L 程度
	白血球除去工程 後のフィルター	684 円/個	200mL または 400mL の白血球がトラップされた状態
	保管年限 (11 年) を超えた調査用 の血液	770 円/本	4mL 程度 (凝固促進剤有・分離剤有)

※ フィルターの内容物に係る検討は行われていません。

※ ご希望の血液を提供できない場合があります。また、必要に応じ、ご希望とは異なる血液で代用することを協議させていただく場合もあります。

※ 献血者個人の情報 (性別、年齢、献血地域等) は提供いたしかねます。